



面接入試を考える ～ 「清潔感」と「品位」を保って、アピールする ～

面接で何を見るか。世間話で、人情を見るだけではない。したがって、人の本質を見ている。ある人は、仮面をはがす、という。質問項目を重ねて、人の本質を見たいのである。

ある人は、再生力を見る、という。採用とは、人の一生涯を面倒見る、高い買い物でもある。メンタル面で弱くないか、一生涯幾多の困難があってもくじけず粘り強くやりとげられるのか。見極めたいのである。筆者の経験上、「心折れる」とか「リセット」という言葉を吐くこと自体、その人の採用をためらう。そんな「心折れる」可能性のある人はどうか、と考えるからだ。

(とはいっても、あのイチロー選手も、WBCの不振時には、このようなことを言ったが…)

ある人は、優しさを見る、という。人間的な柔らかさ、豊かさを見たいのである。質問項目に、豊かな人間性をもって答える人か否か。多面的な視点を持ち、柔軟性を感じさせる人は魅力的だ。

ある人は、指先を見る、という。工場での作業で、危険性を伴うとき、指の爪を伸ばしている人などは採用したくない。職種によっても、見られるところは異なり、具体的なのである。

さて、面接について、以下形式や目の付け所、留意点を具体的に示した。参考にしてほしい。

面接対策編

面接の対策

面接試験とは

面接試験では、志望理由書や自己PR文と同様に「わが校(わが社)に入学(入社)させるのにふさわしい人物かどうか」をチェックしています。主に、①受験生の人間性・能力(社会人や学生としての個性、意欲)②入学に対する意欲(提出書類・試験で示した点など)を見ています。

面接で注意したい二つのポイント

①態度・表情・マナー

顔の表情や身だしなみ、身のこなし、発声、公の場でのマナーなどが挙げられます。こういったところから、人間性やコミュニケーション能力、社会性の有無がわかります。

②質問への回答

質問に対する回答の「質」が評価されます。回答内容から、受験の理解力や論理性、社会人や学生としての個性が判断できます。また、話し方などで、入学への意欲や意気込みもわかります。提出書類の不備点なども確認できます。

面接の形式

①個別面接

個別面接とは、受験生一人と面接官(教員)との間での面接です。

②集団面接

集団面接とは、一度に複数の受験生に面接をして審査をします。ただし、面接官は学生一人ひとりに質問をしますので、他の学生と会話をすることはありません。対応も個別面接と同じと考えて差しつかえありません。

③グループディスカッション

ある課題に対して、数名の受験生に議論させ、面接官がそのようすを審査します。面接官が個別に質問をすることはありません。

面接官の視点 面接官はこういうところを見ている！

①試験の有様を見る……入学・入社の意欲、面接対策への熱心度をチェックしています。志望理由書や提出書類についていっしょに検討しているほか、緊張や動揺は、表情や発声、姿勢に表れます。
②提出書類ではわからない受験生の素顔を見る……受験生の素顔を知るため、例えば受験生自身に関する質問を投げかけます。受験生の積極性・粘り強さ・協調性・出席者の礼儀などを見ているのです。
③提出書類の内容が正しいのかを確認する……校則と目標を照合して、矛盾がないかを見つけています。本人が考えて書いたものが、ほかの人に書いてもらったものか、などを判断します。
④顔にふさわしい表情ができるかどうか……面接という場には適切な表情ができるかどうか、見えています。思ったことをそのままにせず、大人としてふさわしい態度を心がけましょう。

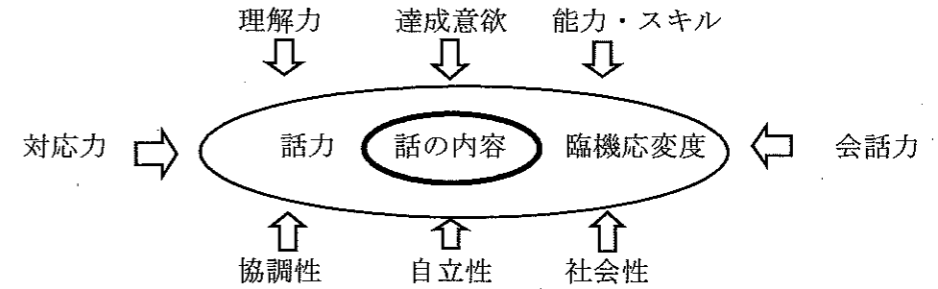
【参考】「面接官は何を見るか」 (「採用担当者の目」から)

ある面接担当者のとらえ方である。参考までに、考え方のグレードアップに生かしてほしい。

◎面接官は、次のような8つの項目で評価するものとする。(ただし、これはあくまで一例。)

- ①対応力 ②理解力 ③達成意欲 ④能力・スキル
- ⑤会話力 ⑥社会性 ⑦自立性 ⑧協調性

<概念図>



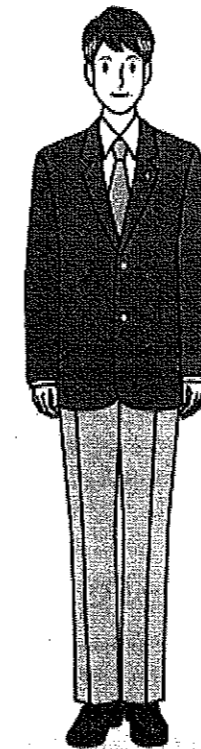
◎上記の<概念図>のとおり、受験者は、話力や臨機応変度により「話の内容」の厚みや深まりの印象度が違ってくる。面接者は、上記の8項目から、いわゆる横やりを入れたりしながら、真の力を見ようとしている、と考えてよいだろう。

◎今、あなたの前に初対面の人が座って「私は正直者です。」といったら、あなたは信じるか。むしろ逆じゃないか。面接で、多くの学生たちがこの点を誤解しているように思える。協調性がある、指導力がある、責任感がある、などとほとんどの学生が、この言葉を連発する。

言ってはいけないことじゃないが、協調性があるか、指導力があるかどうかは、それについてのエピソードや自分の考え方などを学生が話すのを聞いて、面接官が評価するものである。したがって、みなさんは、根拠となる経験や実績を重ねていくことにこそ力点を置くべきだ。

★身だしなみを各自チェックしてみよう！★ できていなかったら、意識的に正そう！！

服装や身だしなみのマナー



- 清潔で、高校生らしい髪型にきちんととがす
- 髪をしない
- 無精ひげをそる
- 清潔なシャツ
- 上までボタンをする
- ネクタイをきちんと結ぶ
- 校章をきちんとつける
- ボタンをきちんとはめる
- フケに注意
- つめを切る
- スポンはプレスする
- くずしたはき方はしない
- 太すぎない
- 裾が長い
- ずり切れていない
- くるぶしを隠す程度
- 靴は落ちついた型のものにする
- 履いてある
- カカトを踏んだあとがあれば伸ばす



- 清潔で、高校生らしい髪型にきちんととがす
- 髪をしない
- 長い髪はまとめる
- 化粧はしない
- 清潔なシャツ
- 上までボタンをする
- リボンをきちんとつける
- 校章をきちんとつける
- ボタンをきちんとはめる
- フケに注意
- つめを切る
- マニキュアはしない
- アクセサリーはつけない
- スカートをプレスする
- 長すぎない
- 短すぎない
- 靴は落ちついた型のものにする
- 履いてある
- カカトを踏んだあとがあれば伸ばす